



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 株式会社カーメイト 上場取引所 東
 コード番号 7297 URL http://www.carmate.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 (氏名) 村田 隆昭
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 奥村 英治 (TEL) 03-5926-1211
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,926	5.9	1,233	107.0	1,242	124.5	875	566.4
29年3月期第3四半期	15,039	△3.6	596	13.6	553	14.0	131	35.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,126百万円(—%) 29年3月期第3四半期 △272百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	115.20	—
29年3月期第3四半期	17.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	22,368	11,782	52.7	1,550.40
29年3月期	21,259	10,807	50.8	1,422.12

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 11,782百万円 29年3月期 10,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
30年3月期	—	8.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,182	7.8	864	89.0	832	125.0	507	493.4	66.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.7「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	7,928,885株	29年3月期	7,928,885株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	329,518株	29年3月期	329,396株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	7,599,379株	29年3月期3Q	7,599,489株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.2「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

[添付資料]

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績が向上し雇用情勢、所得環境も改善するなど、回復基調が続いております。世界経済においては、米国の政策運営に対する懸念や北朝鮮の地政学的なリスクなどはあるものの、欧米経済は堅調に推移し新興国経済においても回復の動きが見られるなど、総じて緩やかな回復基調を示しております。しかしながら、国内の個人消費は依然力強さに欠けており、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況で推移しました。このような状況下にあつて当社グループは、引き続き、トータルコストの削減を推進する一方、新製品の市場導入強化、安全・安心なモノづくり、新興国市場への積極的な展開による海外売上の拡大などに努めてまいりました。また介護関連事業につきましては入居率の向上とサービスの向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第 3 四半期連結累計期間の売上高は、H I Dバルブ、運搬架台類が減収となりましたが、平成 29 年 2 月に発売しました 360 度ドライブアクションレコーダーが増収に寄与したほか、オートスポーツ用品、車内小物用品、芳香剤、介護関連事業も増収となり 15,926 百万円（前年同四半期比 5.9%増）となりました。損益面につきましては、原価率の改善、販売費及び一般管理費の減少があり、営業利益は 1,233 百万円（前年同四半期比 107.0%増）となり、経常利益は 1,242 百万円（前年同四半期比 124.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 875 百万円（前年同四半期比 566.4%増）となりました。

《当社グループの四半期業績の特性について》

当社グループは冬季製品の占める割合が高いため業績にも季節的変動があり、売上、利益ともに第 3 四半期に集中する傾向にあります。特に第 4 四半期は最も少なく利益はマイナスとなる可能性があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第 3 四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ 1,050 百万円増加し、16,034 百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ 58 百万円増加し、6,333 百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ 1,109 百万円増加し、22,368 百万円となりました。

(負債)

当第 3 四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ 594 百万円増加し、6,330 百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金、返品調整引当金の増加によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ 459 百万円減少し、4,256 百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ 134 百万円増加し、10,586 百万円となりました。

(純資産)

当第 3 四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 974 百万円増加し、11,782 百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は 52.7%（前連結会計年度末は 50.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成 29 年 10 月 31 日の「平成 30 年 3 月期 第 2 四半期決算短信」ならびに「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成 29 年 3 月 31 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成 29 年 12 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,101	7,660
受取手形及び売掛金	2,079	4,459
製品	2,416	2,224
仕掛品	304	355
原材料及び貯蔵品	392	575
その他	708	761
貸倒引当金	△19	△3
流動資産合計	14,984	16,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	718	670
機械装置及び運搬具（純額）	152	147
工具、器具及び備品（純額）	415	330
土地	483	483
建設仮勘定	—	24
有形固定資産合計	1,769	1,657
無形固定資産	167	152
投資その他の資産		
投資有価証券	2,119	2,466
長期貸付金	1,110	1,081
その他	1,108	975
投資その他の資産合計	4,338	4,524
固定資産合計	6,275	6,333
資産合計	21,259	22,368

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成 29 年 3 月 31 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成 29 年 12 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,157	2,498
短期借入金	638	638
1 年内返済予定の長期借入金	254	93
1 年内償還予定の社債	372	483
未払法人税等	196	332
賞与引当金	392	198
返品調整引当金	246	407
製品保証引当金	0	0
その他	1,476	1,678
流動負債合計	5,735	6,330
固定負債		
社債	1,314	1,250
長期借入金	643	200
役員退職慰労引当金	628	556
退職給付に係る負債	817	837
その他	1,310	1,411
固定負債合計	4,715	4,256
負債合計	10,451	10,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,637	1,637
資本剰余金	2,422	2,422
利益剰余金	6,171	6,895
自己株式	△183	△183
株主資本合計	10,048	10,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	507	740
土地再評価差額金	△196	△196
為替換算調整勘定	447	466
その他の包括利益累計額合計	759	1,010
純資産合計	10,807	11,782
負債純資産合計	21,259	22,368

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

(四半期連結損益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 12 月 31 日	当第 3 四半期連結累計期間 自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 12 月 31 日
売上高	15,039	15,926
売上原価	10,128	10,423
売上総利益	4,911	5,502
販売費及び一般管理費	4,315	4,269
営業利益	596	1,233
営業外収益		
受取利息	37	44
受取配当金	29	30
為替差益	—	7
その他	13	18
営業外収益合計	80	101
営業外費用		
支払利息	15	10
売上割引	50	50
為替差損	18	—
支払手数料	38	30
その他	0	0
営業外費用合計	122	91
経常利益	553	1,242
特別利益		
固定資産売却益	1	5
特別利益合計	1	5
特別損失		
固定資産除却損	0	1
固定資産売却損	6	0
特別損失合計	6	1
税金等調整前四半期純利益	547	1,246
法人税、住民税及び事業税	240	356
法人税等調整額	176	14
法人税等合計	416	370
四半期純利益	131	875
親会社株主に帰属する四半期純利益	131	875

(四半期連結包括利益計算書)
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 12 月 31 日	当第 3 四半期連結累計期間 自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 12 月 31 日
四半期純利益	131	875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	232
為替換算調整勘定	△438	18
その他の包括利益合計	△403	251
四半期包括利益	△272	1,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△272	1,126
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の子会社において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。